

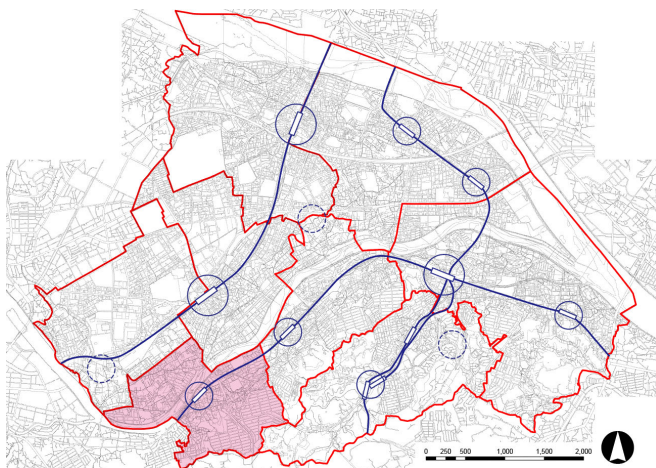
第4章 地域別構想（地域別まちづくり方針）案

平山中学校地域 浅川と緑のふところに抱かれたまち

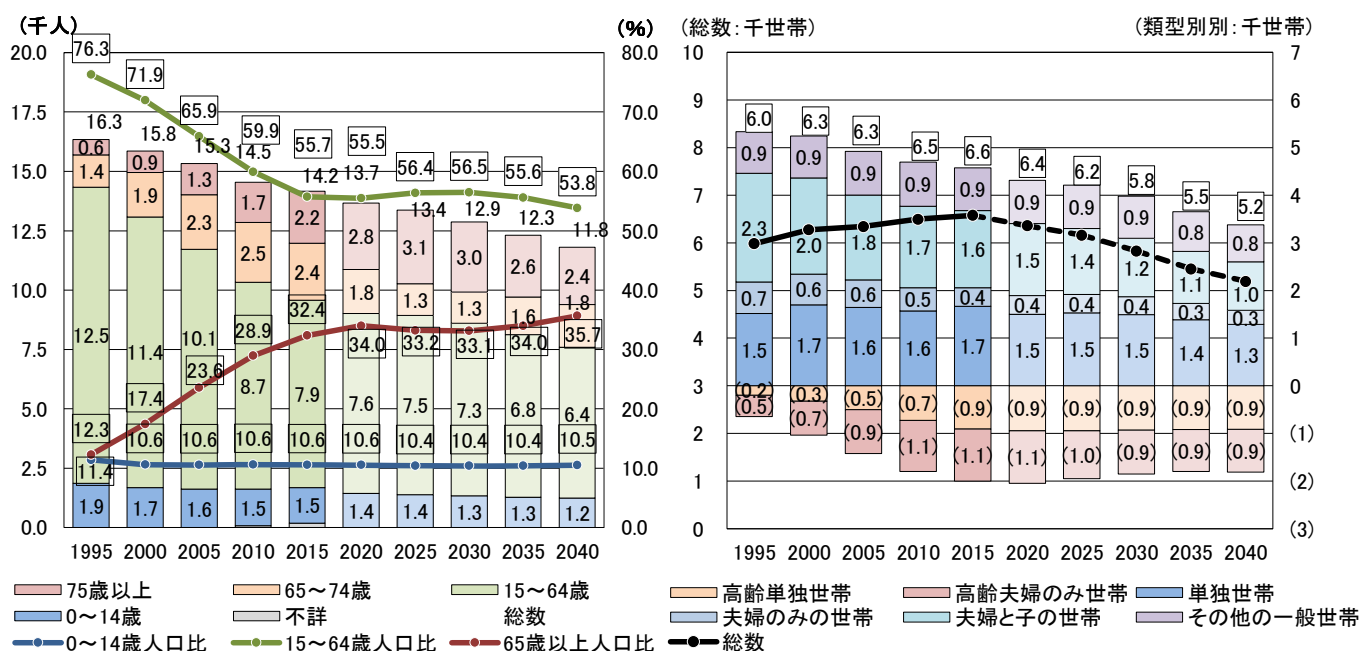
1. 地域の特徴とまちづくりの課題

【平山中学校の区域】

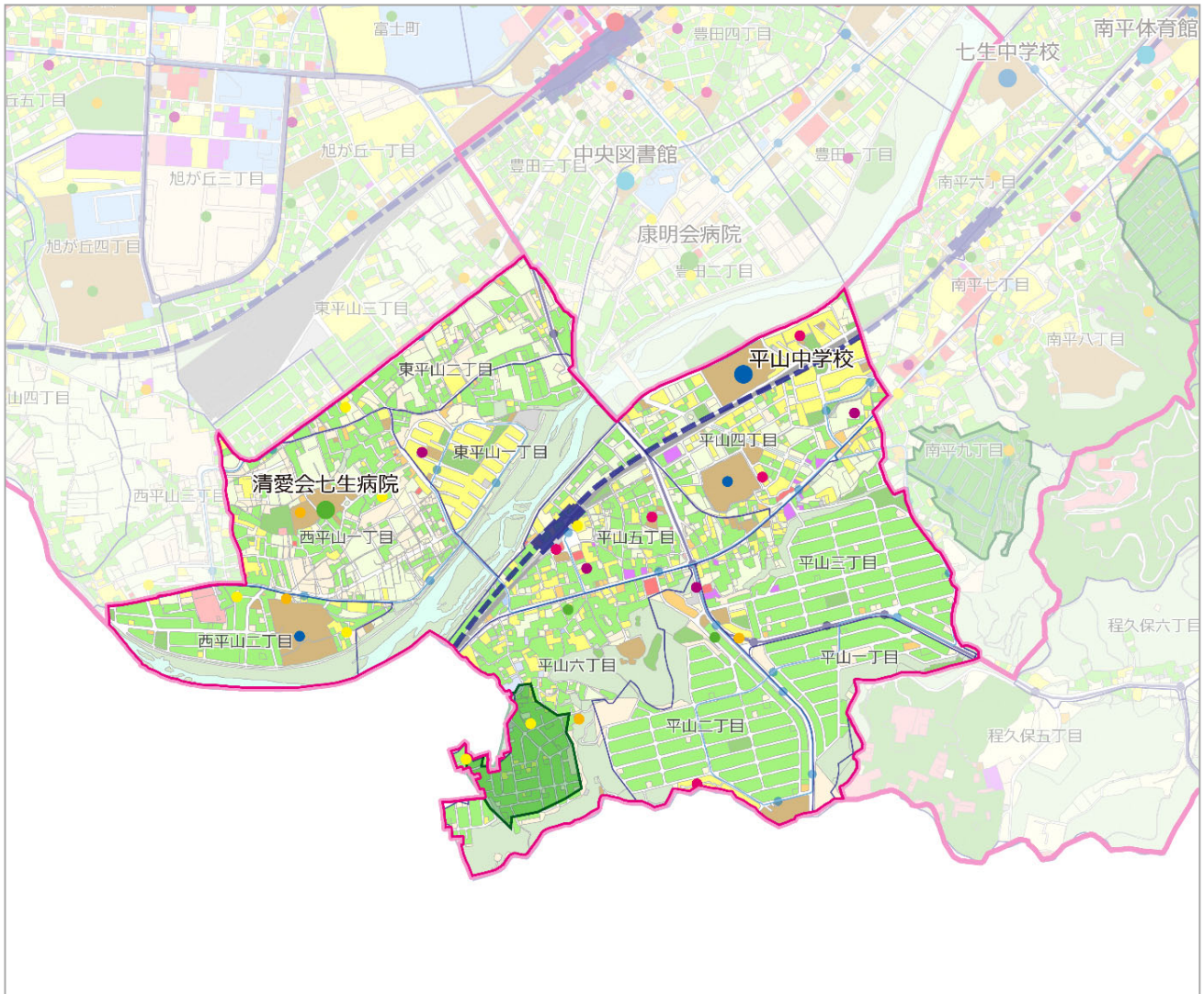
- ・中央に浅川、南に多摩丘陵が広がる自然の豊かな地域です。また、丘陵地からは日野市街地を見渡せ、遠くには富士山を望むことができます。
- ・浅川沿いの東平山や西平山では農地が多く残り、農ある風景を残しながら区画整理事業を進めています。
- ・平山城址公園駅は、地域の生活拠点としての機能が期待されますが、駅周辺には商業や子育て、医療・福祉施設等の生活サービス施設が不足しています。
- ・浅川と北野街道に挟まれた京王線沿線には道路が未整備で住宅や空き地が混在する市街地がみられます。
- ・丘陵地にある住宅地は、街並みが美しく、道路もよく整備されていますが、高齢化が進み、空き家等も見られます。



【平山中学校地域の人口・世帯数の現況と推計】



【平山中学校地域の現況図】



凡例：交通		凡例：施設利用	
鉄道	路線バスルート	行政施設	教育施設
	75本(片道)/日以上	文化・スポーツ施設	子育て施設
	30本(片道)/日以上	コミュニティ施設	福祉施設
	30本(片道)/日未満		
	路線バスバス停		
	ミニバスルート		
	20本(片道)/日以上		
	20本(片道)/日未満		
	ミニバス停		
凡例：土地利用種別			
官公庁施設	供給処理施設	独立住宅	屋外利用地・仮設建物
教育文化施設	事務所建築物	集合住宅	その他
厚生医療施設	専用商業施設	専用工場	道路
宿泊・遊興施設	住商併用建物	住居併用工場	公園・運動場等
		倉庫運輸関係施設	鉄道・港湾等
		農林漁業施設	未利用地等
			田
			畑
			樹園地
			水面・河川・水路
			原野
			森林

2.暮らし方の目標と実現するための取組みの方向性

平山中学校地域

暮らし方の目標 1：遠くに富士山を眺め、身近に水辺や緑を感じる暮らし

○「身近に水辺」⇒河原、河川敷の表現に

・地域は、中央に浅川、南に多摩丘陵が広がる自然の豊かな地域です。丘陵地からは日野の市街地を見渡せ、遠くには富士山を望むことができます。

→法制度の活用やルールづくりなどによって、これらの豊かな水辺や緑、眺望点を守るとともに、水や緑に親しめる場づくりを進めることによって、身近に水辺や緑を感じることができる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
浅川、用水等の水辺を大切に守っていこう	【水辺の保全】 ・水路や浅川河川敷の自然環境の保全 ・生態系に配慮した浅川の河川工事の推進、堰や導流堤水門の再構築の検討 ・清掃ボランティア運動や、ゴミ捨てマナー向上のための普及啓発	○滝合の水路の保全（西平山1）	○生き物が住める水辺・用水・緑の保全 ○景観や自然の保全とアピール	
豊かな水環境を活かし、親しめる場をつくろう	【水と親しむ場づくり】 ・大名洲などの河川の瀬や淵の連続性の確保、浅川沿いの桜並木の整備 ・浅川沿いの遊歩道の連続性の確保、用水をたどる遊歩道の整備 ・木陰のあるベンチ、標識と案内板の設置	○川沿いの桜並木の保全 ○川沿いに散歩ルートの回遊性を生み出す遊歩道の整備	○大名洲の保全 ○川沿いの散策路・歩道の再整備 ○鮫陵源を復元しまち歩きの手点や休憩場所に	
現存する樹林地や農地を守っていこう	【緑地の保全】 ・八幡社や湧水源となる崖線の緑の保全、樹林地の公有地化（都市公園法・都市緑地法・都条例などの法制度の活用） ・農地の保全（生産緑地の指定） ・樹林地を残すための開発時のルールづくりや、「緑は財産」という意識の共有化の機会づくり			○区画整理事業を実施中の区域では宅地化が進んでいる。昔よりも緑や農地が減少している

暮らし方の目標 2：まちの住環境や景観を自ら守り育てることのできる暮らし

・丘陵地にある住宅地は、道路や美しい街並みが整備されていますが、駅周辺や北野街道沿いの一部では狭い道路や老朽住宅が残されています。

→住宅地に公園などのオープンスペースを確保して、安心して暮らせるまちを目指すとともに、地域住民によるルールづくりなどによって、まちの景観や住環境を自ら守り育てることのできる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
誰もが安心して街並みを楽しみながら散歩できるような住環境を育んでいこう	【安全・安心まちづくり】 ・基盤が未整備の住宅地でのオープンスペースの確保（狹隘道路整備や共同化など） ・通学路への街灯や防犯カメラの設置 ・誰でも安心して避難できる避難路ネットワークの確保（電線の地中化・住宅地内の通行規制など）	○危険な通学路への街灯や防犯カメラの設置 ○緊急車両が通れるための路上駐車対策		
	【防災まちづくり】 ・浸水想定区域など災害情報の地域住民への周知や、専門家による土砂災害危険区域の再点検 ・空き家を活用した防災施設や一時避難場所となる公園の整備 ・地域住民による、避難や情報伝達手段等の体制強化	<避難> ○空き家を活用した避難場所の整備、備蓄 ○一時避難ができる広い公園の整備 ○普段使い慣れた場所（居場所）を避難場所に（商業施設や道の駅に避難できるとよいのでは） ○地区センターの建替えに合わせた、避難所機能の付加 <防災組織・情報伝達手段> ○自治会などの防災訓練で共助の力を育成 ○自治会に加入していない人に対しても、日ごろからの関係づくり ○災害の種類別の避難対応の検討		

		○災害時避難の方法等の住民への周知 ○災害情報の正確な伝達手段・体制の強化 ○ガス漏れなどの警報・災害情報を通報する装置		
歩いていて楽しく、緑豊かな住宅地づくりを目指し、ルールづくりを進めよう	・農家の石垣の保全 ・石垣や水路など良好な景観に配慮した狹隘道路の整備等 ・低層住宅地周辺における高層住宅建設のルールづくりや、整った景観と良好な環境を保全するためのルールづくり（地区計画制度の活用やまちづくり条例の検討など）			

暮らし方の目標 3：誰もが安心して利用できる道路環境の整った暮らし

・地域を横断する北野街道では拡幅整備が進んでいますが、浅川沿いの道路では、交通量が多いにもかかわらず安全な歩行者空間が確保されていない部分もあります。

→交通体系の見直しを進め、歩行者のための空間を確保することによって、**子供から高齢者まで**誰もが安心して利用できる道路環境の整った暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
車と歩行者と自転車が安全に利用できる道路環境を整えよう	【安全な道づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両やミニバスが運行できる丘陵住宅地間及び駅を連絡する生活幹線道路の整備 ・都市計画道路や生活幹線道路の整備に伴う交通体系の見直し（住宅地内の歩行者・自転車優先の生活道路として見直す）や信号機の設置 ・浅川沿いの道路の歩車分離化、遊歩道への街路灯の設置 ・老朽化した道路や橋の修繕・維持管理 	○ 老朽化した橋（滝合橋など）の修繕 ○川沿いの空き地を園児の送迎など一時的な駐車スペースに活用（みなみだいら保育園周辺）	○平山台住宅は駅からの道路を歩きやすく改善 ○橋の架け替え、 高齢者が歩きやすい 歩道の整備	
北野街道沿いの歩行者環境を改善しよう	【安心して歩ける北野街道】 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路や生活幹線道路の整備に伴う北野街道の歩道部分の拡幅、緑化の推進 ・時差式信号と右折レーンの設置（平山四丁目交差点） ・生活道路の交通規制や横断歩道の増設、歩行者・自転車専用の地下道の設置 			

暮らし方の目標 4：住みやすく、安心して生活できる暮らし

・地域には、住民が気軽に立ち寄って集まることのできる場所や公共施設が不足しています。

→公共施設の整備や使い方の工夫によって、住民の交流の場の充実を図るとともに、高齢者でも一人で散歩できるような環境を整え、安心して生活できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
公共施設の整備と開放によってサービスを向上させよう	【公共施設の充実化】 <ul style="list-style-type: none"> ・広域幹線道路 日 3・3・2 号沿道の生活便利施設等の誘導 ・平山台健康市民支援センターを中心とする健康・介護予防・コミュニティ維持のための生活拠点の形成 ・西平山地区区画整理事業での複合施設の整備 ・住宅地における診療所や子ども関連施設などの公益施設の整備 ・学校の余裕教室等のレクリエーションの場としての活用 ・公共施設の IT 基盤整備（無線 LAN 環境の充実等） 	○ 区画整理とバイパスの整備により沿道に商業施設など利便施設を誘致 ○利便施設とともに誰でも利用できる居場所の確保		○平山台文化スポーツクラブは保育園や配色サービス、障害のある児童児の預かりも行っており、自治会の利用も多い。 ○福祉関連の様々な機能が複合する健康・市民支援センターと地域住民や周辺施設との 連携の促進 ○平山季重ふれあい館の有効活用
高齢者でも一人で散歩できるような公園や遊歩道をつくり、ネットワーク化していこう	【公園のネットワーク化】 <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道とポケットパークの一体的な整備とバリアフリー化、公園へのトイレ・水場等の設置 ・地域住民やボランティアによる公園の維持管理、公園機能のリニューアルによる交流の場、子供の遊び場の創出 ・地域に開かれた団地再生（都営平山アパート・公社平山住宅等）を検討 ・コミュニティ・健康・スポーツの拠点の形成（市民ブー 	○ 既存公園のリニューアルによる交流の場の創出 ○ 子どもの遊び場としての公園	○丘陵部に階段の整備や WC の設置	○ 団地周辺の地域にサービスできる施設がほしい

	<p>ル・駒形公園周辺</p> <p>・幹線道路の緑化の推進</p>			
いつまでも住み続けられる住宅地をつくろう	<p>【住み続けられる住宅地】</p> <p>・空き家活用や住替えを通した住み続けられる環境整備</p> <p>・住み慣れた地域で生き、看取られる、暮らし・医療・福祉の連携とまちづくりの構築</p> <p>・地域の中で居住を選択できる住み替えモデルの検討</p> <p>・スーパー等の移動販売の促進</p>	<p>○増加傾向にある空き家の活用方法の検討</p> <p>○買い物時の交通手段や荷物の運搬などの課題を、地域で解決する方法の検討</p> <p>○スーパーの移動販売、移動販売の誘致、充実</p>	<p>○空き家を活用した居場所づくり</p> <p>○高齢者が一人でなく、みんなでご飯を食べる場所</p> <p>○平山台住宅は1住戸の敷地が広く、また高齢化が進んでいるため、若い人が入ってくる工夫をする</p>	<p>○生涯活躍のまち事業によるモデル地区。生活課題産業化の検討により多様な事業者の参入を狙っていくべき。</p>
ミニバスや乗合タクシーの運行等によって、市内南北交通を充実させ利便性を高めよう	<p>【利便性の向上】</p> <p>・ミニバスやワゴンタクシーの運行ルート等の拡充、バス停にベンチや休憩場所の設置</p> <p>・地域と協働で行う新たな移動手段の仕組みの検討</p> <p>・新しい交通手段の試行錯誤が可能となるようなモデル地区の指定（リビング・ラボの実施等）</p> <p>・規則的な道路網を備えた丘陵部住宅団地への自動運転の導入</p> <p>・公的不動産や空き家・空き地等の地域資源を活用したバス停の整備、電動車椅子等の充電スタンドの設置</p>	<p>○新しい住宅地が開発されるタイミングで、バスルート等の公共交通網を再整備</p> <p>○ミニバスの増便、京王線沿線にも出やすくなるようなルート設定</p> <p>○ミニバスやワゴンタクシーに加え、+αの交通手段の検討</p> <p>○ワゴンタクシーの運行ルートの拡充や便数の増強、乗降や荷物の運搬補助のサービス</p> <p>○お年寄りが使いやすい乗り降りの工夫がされた車両</p> <p>○丘陵部から病院へ直通の公共交通手段の整備</p> <p>○歩道脇やバス停にベンチや休憩場所の設置</p>		<p><丘陵部住宅地></p> <p>○地域と自治会の状況に応じて、住民補填型の公共交通の導入も検討する。</p> <p>○丘陵部住宅団地は規則的な道路構成を備えており、自動運転の導入も視野に入れる。</p> <p>○空き家・空き地を活用したバス停の整備、電動車椅子等の充電スタンドの設置など、パーソナルモビリティを取り入れたまちづくり</p> <p>○ゴルフカートのような巡回する移動手段の導入</p>

暮らし方の目標5：さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らし

- ・平山城址公園駅は地域の交通拠点としての役割を担っていますが、周辺には商店や子育て支援、医療・福祉施設などが不足しています。
- 地域住民のニーズに応じて必要な機能を充実する駅前づくりを進め、様々な世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
地域の生活やレクリエーションの拠点として、使いやすい駅周辺をつくっていかう	<p>【生活拠点づくり】</p> <p>・北野街道沿道と連携した、生活に必要な機能など地域住民のニーズにあった施設の充実</p> <p>・丘陵部の住宅地に住む市民の生活サービス機能の充実</p> <p>・ユニバーサルデザインの視点による施設計画づくり</p> <p>・機能誘導に併せた駅及び駅前広場の整備の検討</p> <p>・駅東側の生活幹線道路の整備、駐車スペースの充実</p> <p>【歩いて行ける駅づくり】</p> <p>・平山城址公園駅と浅川をつなぐ歩行者・自転車専用道路、自転車やランナーが休めるランナーズステーションの整備</p> <p>・南平～豊田間に（仮称）豊南橋設置の検討</p> <p>・南側ウォーキング・サイクリングルートとのネットワークづくり（ルートの位置づけと整備）</p> <p>・豊南橋のたもと周辺の滞留空間の機能充実（休憩・トイレ・スロープ・カフェ等の様々な機能を検討）</p> <p>・駐輪場の整備、レンタサイクル・サイクルシェアの導入検討</p> <p>【多様な人が集える場づくり】</p> <p>・喫茶店など、ほっと一息つける場、住民が集う場の整備</p> <p>・女性の起業支援スペースの創出</p>	<p>○駅前の公共施設の駐車スペースの活用（農協と協定）</p> <p>○人が集まれる喫茶店（平山城址公園駅周辺）</p> <p>○豊田と南平を直線で結ぶ橋を作る</p>	<p>○駅周辺に買い物ができるところ</p> <p>○駅前に、ほっと一息つける場所、喫茶店のような機能の追加</p> <p>○駅舎の建替え・バリアフリー化・高架化</p> <p>○駅前に女性の起業支援（アロマ・子どもの預かり）スペースを（週に数時間使いたい住民ニーズあり）</p> <p>○住んでいる人の働く場、集う場、コミュニティスペース</p> <p>○多世代が集まる場所づくりとその仕組みづくり</p> <p>○平山城址公園駅をハイキングコースの起点として整備</p> <p>○丘陵部に向かう歩きやすい道の整備</p> <p>○市外から来た人の休憩所、写真スポット</p>	<p>○川沿いや公共施設に、自転車やランナーが休めるシャワーやカフェが備えられたランナーズステーションの整備</p>

暮らし方の目標6：農地のある風景や農業の維持に関わり、地元でとれる新鮮な野菜を食べられる暮らし

- ・浅川以北の平山地域には、多くの緑と農地があり、日野の原風景といえる農地のある景観が残されています。
- 貴重な農地を保全するとともに、市民農園などの整備によって住民が農業に関わり、その恵みを受けて豊かになれる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
<p>用水の水質汚濁を防止し、用水のある風景を守り、育てていこう</p>	<p>【用水のあるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業に併せた下水道の整備 ・コンクリート三面張りから、多自然型工法による再整備、案内板の設置 ・用水守など地域住民による用水の管理 			
<p>農業とその風景を守り、地元でとれる野菜が手に入るシステムをつくりあげ、みんなで農を楽しもう</p>	<p>【農業支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西平山区画整理事業による農地の集合換地、農地の生産緑地化 ・農産物の計画生産の奨励や、出荷できない農産物の流通システムづくり ・後継者の支援システムづくりや農業指導の充実 <p>【農を楽しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕地を利用した市民農園や、農地や用水など周辺環境と一体となった農業公園の整備 ・PTA による農家と連携した農業体験イベントの開催 			

日野の原風景である農地と水路のあるまち

【七生中学校の区域】

-
- The map shows the city of Bonn with its district boundaries outlined in red. A central area, representing the study area, is shaded in red. A network of blue lines with circular nodes indicates the tram and bus rapid transit system. A scale bar at the bottom right shows distances from 0 to 2000 meters, and a north arrow is located next to it.

Figure 1: Projected population and household trends in Japan from 1995 to 2040.

Left Chart: Population (千人)

Y-axis: 0.0 to 20.0 (千人)

X-axis: 1995, 2000, 2005, 2010, 2015, 2020, 2025, 2030, 2035, 2040

Legend:

- 75歳以上 (Pink)
- 65〜74歳 (Orange)
- 15〜64歳 (Green)
- 0〜14歳 (Blue)
- 不詳 (Grey)
- 総数 (Black line with dots)
- 0〜14歳人口比 (Blue line with dots)
- 15〜64歳人口比 (Green line with dots)
- 65歳以上人口比 (Red line with dots)

Right Chart: Household Types (千世帯)

Y-axis: 0 to 10 (千世帯)

X-axis: 1995, 2000, 2005, 2010, 2015, 2020, 2025, 2030, 2035, 2040

Legend:

- 高齢単独世帯 (Pink)
- 高齢夫婦のみ世帯 (Light Pink)
- 単独世帯 (Blue)
- 夫婦のみの世帯 (Light Blue)
- 夫婦と子の世帯 (Teal)
- その他の一般世帯 (Purple)
- 総数 (Black line with dots)

The map displays the Nishiyama City area, with various districts and landmarks labeled. Key locations include:

- 日野市民ホール** (Nishiyama City Hall)
- 南平体育館** (Nishiyama Sports Center)
- 七生中学校** (Nishiyama Junior High School)
- 日野第三中学校** (Nishiyama Third Junior High School)
- 七生公会堂** (Nishiyama Community Center)
- 中央公民館高幡台分室** (Central Community Center Takanabashi Branch)
- 康明会病院** (Kōmei Kaikan Hospital)
- 平山中学校** (Hirayama Junior High School)
- 豊田** (Toyoda)
- 川辺堀之内** (Kawabuchi-uchi)
- 上田** (Ueda)
- 万願寺五丁目** (Manganji 5-chome)
- 万願寺六丁目** (Manganji 6-chome)
- 東豊田四丁目** (Higashi Toyoda 4-chome)
- 東豊田三丁目** (Higashi Toyoda 3-chome)
- 東豊田二丁目** (Higashi Toyoda 2-chome)
- 東豊田一丁目** (Higashi Toyoda 1-chome)
- 南平五丁目** (Nishiyama 5-chome)
- 南平四丁目** (Nishiyama 4-chome)
- 南平三丁目** (Nishiyama 3-chome)
- 南平二丁目** (Nishiyama 2-chome)
- 南平一丁目** (Nishiyama 1-chome)
- 南平六丁目** (Nishiyama 6-chome)
- 南平七丁目** (Nishiyama 7-chome)
- 南平八丁目** (Nishiyama 8-chome)
- 南平九丁目** (Nishiyama 9-chome)
- 程久保七丁目** (Hosokura 7-chome)
- 程久保六丁目** (Hosokura 6-chome)
- 程久保五丁目** (Hosokura 5-chome)
- 程久保四丁目** (Hosokura 4-chome)
- 程久保三丁目** (Hosokura 3-chome)
- 程久保二丁目** (Hosokura 2-chome)
- 程久保一丁目** (Hosokura 1-chome)
- 三沢四丁目** (Sawazawa 4-chome)
- 三沢三丁目** (Sawazawa 3-chome)
- 三沢二丁目** (Sawazawa 2-chome)
- 三沢一丁目** (Sawazawa 1-chome)
- 豊田四丁目** (Toyoda 4-chome)
- 豊田三丁目** (Toyoda 3-chome)
- 豊田二丁目** (Toyoda 2-chome)
- 豊田一丁目** (Toyoda 1-chome)
- 平山四丁目** (Hirayama 4-chome)
- 平山三丁目** (Hirayama 3-chome)
- 平山二丁目** (Hirayama 2-chome)
- 平山一丁目** (Hirayama 1-chome)
- 多摩平七丁目** (Tamahei 7-chome)
- 多摩平六丁目** (Tamahei 6-chome)
- 多摩平五丁目** (Tamahei 5-chome)
- 多摩平四丁目** (Tamahei 4-chome)
- 多摩平三丁目** (Tamahei 3-chome)
- 多摩平二丁目** (Tamahei 2-chome)
- 多摩平一丁目** (Tamahei 1-chome)

8

2.暮らし方の目標と実現するための取り組みの方向性

七生中学校地域

暮らし方の目標1：遠くに富士山を眺め、身近に水辺や緑を感じる暮らし

・地域は、中央に浅川、南に多摩丘陵が広がる自然の豊かな地域です。丘陵地からは日野の市街地を見渡せ、遠くには富士山を望むことができます。

→法制度の活用やルールづくりなどによって、これらの豊かな水辺や緑、眺望点を守るとともに、水や緑に親しめる場づくりを進めることによって、身近に水辺や緑を感じることができる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
木立のある涼しげな水辺を取り戻そう	【用水の保全】 ・生き物が棲める用水路への改修や年間通水の実施 ・休耕地用耕作ボランティアシステムづくり ・ごみを捨てない啓発運動、イベントによる薬・除草剤を使わない啓発活動			
水辺をはりめぐらせ、魚やザリガニ捕りができる環境を守り、育んでいこう	【水辺のネットワーク化】 ・用水路の保全・開渠化と水生生物の保全 ・南平用水等を活かした、身近な水辺のある親水公園の整備 ・散歩道の整備や水路沿いの民家の生垣化 【浅川を中核とした交流機能の拡大】 ・河川沿いの公共施設を中心に水に親しめる機能を附加するなど交流の拠点づくり ・対岸との連携（駒形の渡し等の歴史の継承）			
現存する樹林地や農地を守っていこう	【緑地の保全】 ・樹林地の公有地化、生産緑地の指定による農地の保全 ・樹林地を残すための開発時のルールづくり ・「緑は財産」という意識の共有化の機会づくり			
日野市街地を見渡せる空間や、富士山などが見える眺望を大切にしまちづくりを進めていこう	【見晴らし保全】 ・丘陵地からの眺めを守るための建築物の高さを規制するルールづくり ・地域住民による眺望点調査と見晴らしマップの作成 ・展望表示版の設置			

暮らし方の目標2：お年寄りに昔話を聞くことができ、みんなで地域の歴史を守り育てていく暮らし

・川辺堀之内地域には、土方歳三にまつわる史跡やどんど焼きなど、数多くの歴史的遺産や伝統行事が残されています。

・地域の歴史を伝承するイベントやお祭りの機会をつくり出し、歴史や伝統を次世代に引き継ぎ、みんなで地域の歴史を共有し、守り育てていく暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
地域の歴史や伝統を伝えていこう	【歴史の伝承】 ・どんど焼きの保全 ・お年寄りが子どもたちに歴史や文化を伝える機会づくり			
地名からイメージできる環境を壊さないまちづくりを進めよう	【まちのイメージづくりプロジェクト】 ・一里塚、社寺等の保全 ・地域の宝モノや昔話を伝えるためのイベントの開催 ・町名地番の整理			

暮らし方の目標3：まちの景観や住環境を自ら守り育てることのできる暮らし

・丘陵地にある住宅地は、道路や美しい街並みが整備されていますが、駅周辺や北野街道沿いの一部では狭い道路や老朽住宅が残されています。

→住宅地に公園などのオープンスペースを確保して、安心して暮らせるまちを目指すとともに、地域住民によるルールづくりなどによって、まちの景観や住環境を自ら守り育てることのできる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
----------------	----------	--------	----------	------

誰もが安心して街並みを楽しみながら散歩できるような住環境を育んでいこう	【安全・安心なまちづくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・基盤未整備の住宅地でのオープンスペースの確保（狹隘道路整備や共同化など） ・住民意向に基づいた地域のまちづくり（南平台等）（小規模な区画整理や地区計画の導入） ・誰でも安全に避難できる避難路ネットワークの確保（電線の地中化・住宅地内の通行規制など） ・専門家による土砂災害危険区域の再点検や水害時の避難建物の検討、災害情報の地域住民への周知 ・住民主体の要支援者対策や避難体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○京王線を縦断できる陸橋の整備 ○水害時に避難させてもらえるお宅を予め把握し取り決めておく ○避難所までの移動手段がない高齢者などへの対策（平日の昼間など、いつでも地域にいる方が役割を担う。助けられる側の準備も必要） ○避難場所が少ない状況で可能な住民主体の避難体制づくり 	○日鉱住宅団地、北野街道への避難道路の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○丘陵部の住宅地は高度経済成長期に宅地化。土砂災害警戒区域がある。 ○住宅の細分化が進んでいる箇所がある ○住宅以外の用途がないため、地域に必要な機能を検討
歩いている楽しく、緑豊かな住宅地づくりを目指し、ルールづくりを進めよう	【街並み保全】 <ul style="list-style-type: none"> ・低層住宅地周辺における高層住宅建設のルールづくりや、整った景観と良好な環境を保全するためのルールづくり（地区計画制度の活用やまちづくり条例の検討など） ・石垣や水路など良好な景観に配慮した狹隘道路の整備 ・農家の石垣の保全 			○地区計画の指定された住宅地、指定されていない住宅地がある

暮らし方の目標 4：誰もが安心して利用できる道路環境の整った暮らし

- ・地域を横断する北野街道では拡幅整備が進んでいますが、浅川沿いの道路では、交通量が多いにもかかわらず安全な歩行者空間が確保されていない部分もあります。
- 交通体系の見直しを進め、歩行者のための空間を確保することによって、誰もが安心して利用できる道路環境の整った暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
車と歩行者と自転車が安全に利用できる道路環境を整えよう	【安全な道づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路や生活幹線道路の整備に伴う、住宅地内の歩行者・自転車環境の見直しや、信号機の設置 ・浅川沿いの道路の歩車分離化 ・浅川沿いの遊歩道への街路灯の設置 	○豊南橋の整備（南平 6 丁目の辺り）（豊田まで移動がスムーズになり、生活が楽に）	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道がでこぼこなので改善を ○車のスピードを落とす工夫 	○住宅地から駅へ向かう道が狭い。擁壁が危険な箇所もみられる
北野街道沿いの歩行者環境を改善しよう	【安心して歩ける北野街道】 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路や生活幹線道路の整備に伴う北野街道の歩道部分の拡幅、緑化の推進 ・生活道路の交通規制や横断歩道の増設、歩行者・自転車専用の地下道の検討 			

暮らし方の目標 5：住みやすく、安心して生活できる暮らし

- ・地域には、住民が気軽に立ち寄って集まることのできる場所や公共施設が不足しています。
- 公共施設の整備や使い方の工夫によって、住民の交流の場の充実を図るとともに、高齢者でも一人で散歩できるような環境を整え、安心して生活できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
公共施設の整備と開放によってサービスを向上させよう	【公共施設の充実】 <ul style="list-style-type: none"> ・南平体育館の建替え（地域のコミュニティ、健康・スポーツ、防災の拠点として整備） ・ななお BON 祭りの実施、継続 ・地域の祭り等、人と人との接点を作る場の確保 ・既存の地区センター等の活用と地域住民による管理、学校の余裕教室等のレクリエーションの場としての活用 ・公共施設の IT 基盤整備（無線 LAN 環境の充実等） 			○南平体育館は、地域のコミュニティ、健康・スポーツ、防災の拠点と整備していく。
	【新しい沿道型生活拠点づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・広域幹線道路 日 3・3・2 号沿道の生活利便施設等の誘導 ・地域住民のニーズにあった生活サービス機能の誘導 ・丘陵地の景観と調和した施設の整備促進 	○基盤整備（区画整理など）と併せて地区センターや児童館を整備を整備（川辺堀之内）		○道路整備と合わせて、沿道に地域の生活利便施設等の立地を誘導する。（川辺堀之内）

	【子供や高齢者の居場所づくり】 ・子供から高齢者まで多世代が利用できる居場所の創出	○地域ごとに高齢者の外出の機会を増やす居場所や予約なしに1人で利用できるサロン ○施設に通っていない高齢者や小学生など、多世代利用できる居場所 ○小学生が学童終わりに集まれる場所や乳幼児～高齢者まで一堂に会せる場所	○地域の方で交流できるイベントを大切にしたい ○保育所が少なく小さい。広く伸び伸びとした環境にしたい	
年をとっても住み続けられるような住環境をつくりあげよう	【住み続けられる住環境づくり】 ・空き家活用や住替えを通した住み続けられる環境整備 ・丘陵部住宅地で生活拠点を創出するための、地区計画の策定や用途地域の見直し ・若い世代の丘陵部住宅地への居住促進策の検討 ・年齢や世代を超えた地域のコミュニティづくり ・土砂災害特別警戒区域に含まれる住宅地に対する、自主防災組織等の地域住民主体の対策含む施策の検討 ・空き家等の住宅ストックの柔軟な利活用	○町会や自治会に代わるコミュニティの形成 ○新規居住者に対する受け皿としてのコミュニティ ○年齢や世代を超えたつながり作り ○空き家を居場所として活用	○全員が自治会に加入して安全・安心なまちに	○地域の生活拠点を創出するため、敷地面積の最低限度の変更など、地区計画や用途地域の見直し ○危険な空き家というほどのものはない。 ○空き家のリノベーションや維持管理の支援等の対策 ○空き家の活用 ○高齢者が住み続けられる環境整備等の支援 ○若い世代に対する丘陵部住宅地への居住促進（ニーズ調査の実施等） ○丘陵部の市街化調整区域の部分（野鳥の会の跡地）に住宅地の生活拠点は設けられないか
高齢者でも一人で散歩できるような公園や遊歩道をつくり、ネットワーク化していこう	【公園のネットワーク化】 ・遊歩道ポケットパークの一体的な整備とバリアフリー化、公園へのトイレ・水場等の設置 ・地域住民やボランティアによる公園の維持管理、公園機能のリニューアルと整備 ・幹線道路の緑化の推進、高齢者が気軽に散歩できる歩道の整備やベンチの設置	○高齢者が気軽に散歩できるまちになるように、区画整理等に併せて木陰にベンチなどを整備（川辺堀之内ほか） ○街路樹のある通りにベンチの設置 ○利用しやすい施設やベンチのある店舗にクールスポット		
ミニバスや乗合タクシーの運行等によって、市内南北交通を充実させ利便性を高めよう	【利便性の向上プロジェクト】 ・緊急車両やミニバスが運行できる丘陵住宅地間及び駅を連絡する生活幹線道路の整備 ・ミニバスと鉄道の連絡確保、駅前広場の整備 ・ミニバスや乗合タクシーの運行支援 ・地域と協働で行う移動手段の仕組みの検討 ・地域住民による交通手段の検討	○バス停空白地帯への対応（北野街道の南平3,4丁目付近）	○ミニバスの本数が増えると良い	○北野街道から豊田駅・高幡不動駅にまっすぐ行ける直通バスがあると便利になる ○バスルートやバス停、本数の改善してほしい。少ない。

暮らし方の目標6：さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らし

・南平駅は地域の交通拠点としての役割を担っていますが、周辺には商店や子育て支援、医療・福祉施設などが不足しています。
→地域住民のニーズに応じて必要な機能を充実する駅前づくりを進め、様々な世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
地域の生活やレクリエーションの拠点として、使いやすい駅周辺をつくっていこう	【生活拠点づくり】 ・南平駅前や周辺住宅地における診療所や子ども関連施設などの公益施設や、交流の場の充実 ・北野街道沿道と連携した、生活に必要な機能など地域住民のニーズにあった施設の充実 ・丘陵部の住宅地に住む市民の生活サービス機能の充実 ・ユニバーサルデザインの視点による施設計画づくり ・安全に子供を送り迎えできる駅前広場の整備や駅周辺の交通規制の検討		○南平駅に、駅前広場や安全に子供を送り迎えできる場所	○南平駅にバスが入れない
	【歩いて行ける駅づくり】 ・南平駅と浅川をつなぐ歩行者・自転車専用道路の整備 ・豊田～南平、南平～多摩動物公園のハイキングコースの整備			

	・駐輪場の整備や、レンタサイクル・サイクルシェアの導入の検討		
--	--------------------------------	--	--

暮らし方の目標7：かつての日野の原風景が残されている中で、新鮮な農産物が食べられる暮らし

・川辺堀之内には、日野の原風景である農地のある風景が残されています。

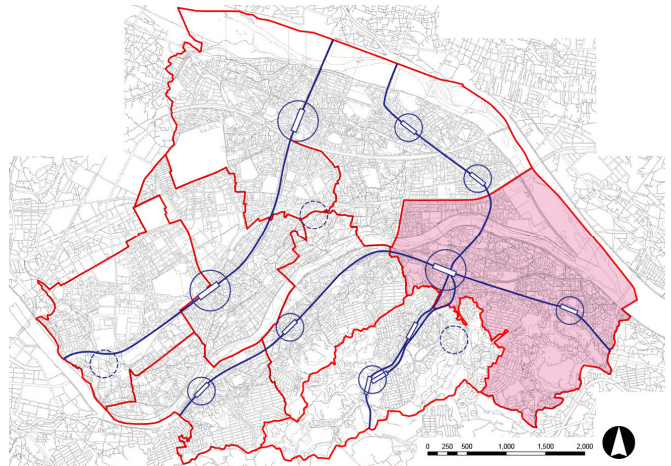
→農業体験や生産者と消費者が交流できるような場づくりなど、地域住民が身近に農業を楽しめる環境をつくりあげ、地元でとれる新鮮な野菜を食べられる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
日野の大切な農業環境を守り、育んでいこう	【農地のあるまち】 <ul style="list-style-type: none"> ・川辺堀之内の営農環境に配慮した区画整理事業の推進 ・未利用地を活かした市民農園の整備・ ・日野の特産品の開発拠点となる「道の駅」づくり 			○川辺堀之内周辺の農地の保全
自分がつくったものが食べられる場所・環境をつくろう	【農業体験プロジェクト】 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催による農業の普及啓発活動 ・教育カリキュラムの中への農作業の導入 ・農家の方に指導者として協力してもらえる仕組みづくり 			

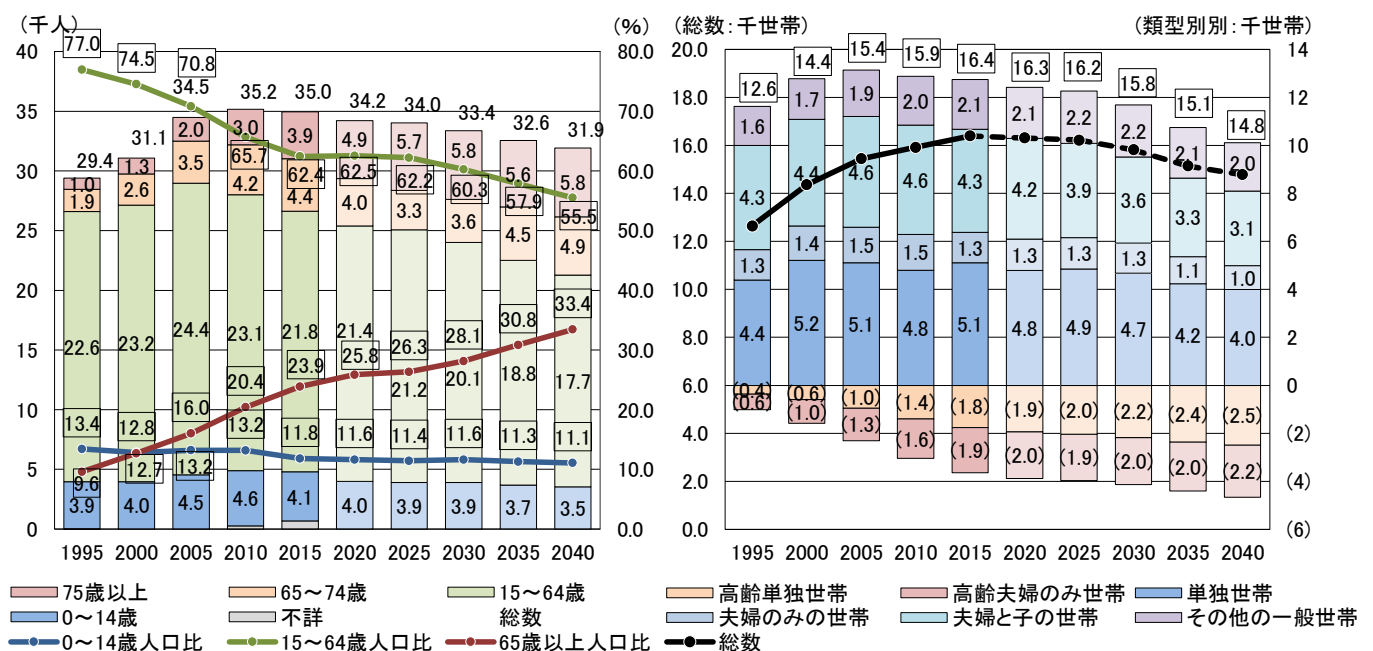
1. 地域の特徴とまちづくりの課題

【三沢中学校の区域】

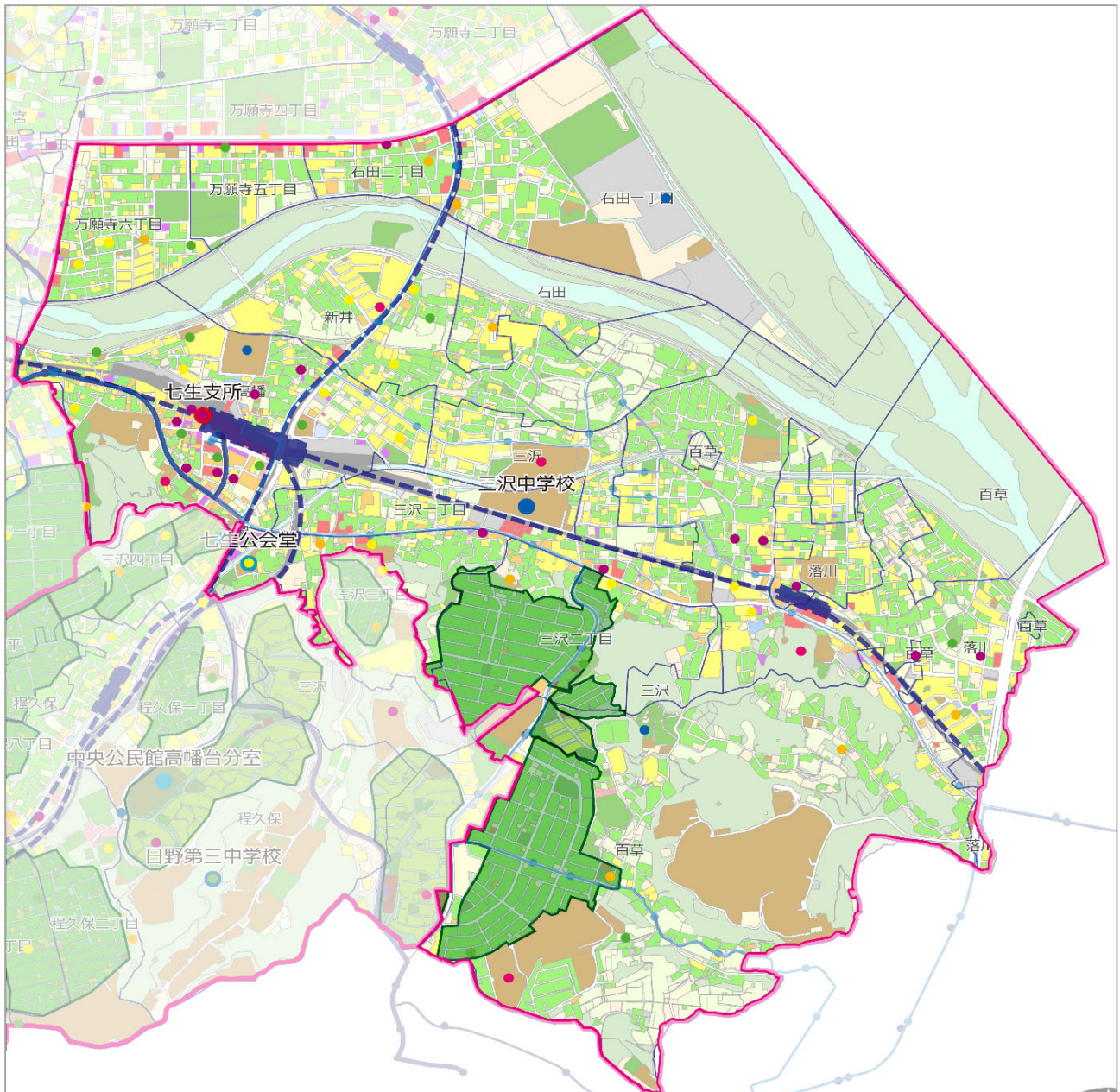
- ・高幡不動駅は京王線とモノレールの交わる交通結節点であり、駅前に商業施設や医療施設が比較的集積していますが、周辺には基盤未整備の街区も残っています。
- ・新井や百草には、農地や用水路があり美しい田園風景が残されています。また、浅川と程久保川合流点（ワンド）や向島用水親水路など自然と触れ合える場所が数多く残っています。倉沢周辺では貴重な里山を残すため市民による様々な活動が続けられています。
- ・百草園駅は市の東側の入口にあたり地域の生活拠点として期待されていますが、駅前にはまとまった敷地が無く、川崎街道沿道の施設立地との分担も望めます。
- ・浅川北側の万願寺、石田地区では区画整理事業が行われ、浅川スポーツ公園等の大規模公園が整備されました。
- ・丘陵部には計画的に開発された住宅団地があり、良好な住環境を形成していますが、高齢化が進んでいます。



【三沢中学校地域の人口・世帯数の現況と推計】



【三沢中学校地域の現況図】



凡例：交通		路線バスルート		ミニバスルート		凡例：施設利用					
鉄道		75本(片道)/日以上		20本(片道)/日以上		行政施設		教育施設		医療施設	
		30本(片道)/日以上		20本(片道)/日未満		文化・スポーツ施設		子育て施設		商業施設	
		30本(片道)/日未満		ミニバス停		コミュニティ施設		福祉施設			
		路線バスバス停									
凡例：土地利用種別											
	官公庁施設		供給処理施設		独立住宅		屋外利用地・仮設建物		田		
	教育文化施設		事務所建築物		集合住宅		その他		畑		
	厚生医療施設		専用商業施設		専用工場		道路		樹園地		
	宿泊・遊興施設		住商併用建物		住居併用工場		公園、運動場等		水面・河川・水路		
					倉庫運輸関係施設		鉄道・港湾等		原野		
					農林漁業施設		未利用地等		森林		

2.暮らし方の目標と実現するための取り組みの方向性

三沢中学校地域

暮らし方の目標 1：豊かな緑に抱かれ、地域の魅力の根源である豊かな自然環境がいつまでも身近にある暮らし

・地域には、百草山や倉沢などの緑地や、恵まれた自然環境の広がる谷戸の風景が残されています。また、浅川沿いの農地には素掘りの用水路があります。

→緑地の公有化の検討や緑地保全のための新制度の活用などによって、自然を守るだけでなく、自然を体験し、楽しむことのできる環境を整備し、自然に棲む生き物と共生できるような暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
百草山や倉沢の大切な緑地を市民の里山として、守り育てよう	【緑地の保全】 ・七生丘陵や倉沢、高幡台等の樹林地の公有地化の検討 ・緑地の保全（田園住居地域など緑地保全のための新たな制度の活用、地権者の任意協力による里山協定の制定、樹林地の税制上の優遇措置、保存樹木・樹林制度の活用、地区計画の活用による緑地の保全、自治体独自の基金の創設等） ・長期的地域計画と詳細な土地利用保全計画の策定 ・新葉山緑地周辺のみどり環境の保全		○緑地を買い取り保全	○倉沢に残る蛍がいるような自然の保全策（部分的に都市計画緑地に指定等）を検討する。 ○東電施設周辺にはホタルが出る緑地がある ○倉沢緑地の積極的な保全 ○多摩川沿いの豊かな自然も保全したい
自然のまま残されている素掘りの用水路を守り、育んでいこう	【用水の保全】 ・百草の素掘りの用水路の保全（環境用水としての指定検討） ・水循環の仕組みに関する学習や、子どもの環境教育としての用水路掃除の実施			
程久保川を生き物に優しい緑・水空間へ戻し、楽しむ場をつくろう	【緑と水の空間づくり】 ・多自然型工法による程久保川の保全と再整備（歴史環境保全地域としての規制づくり） ・浅川・程久保川合流点の保全、水質管理の改善 ・水源をたどれる程久保川沿いの散策路の整備 ・住宅地内の道路の透水性舗装化（土質等の条件による） ・河川の改修への市民参加の仕組みづくり		○点ではなくつなげる用水路の整備	○クリーンセンターごみ処理施設の建替え

暮らし方の目標 2：美しい自然豊かな住環境を守り育てることのできる暮らし

・地域には、身近に豊かな自然を感じられる場所や、道路や街路樹が整備された住宅地には子どもたちが自由に遊べる公園もあります。

→地域住民によるボランティア活動などを促進することによって、誰もが自然環境を守る活動に関わりながら、住環境を守り育てることのできる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
自然を守るボランティアを活用しよう	【ボランティアの推進】 ・専門家の指導による用水路や雑木林ボランティア組織の育成支援と維持管理の促進（用水守制度・雑木林ボランティア制度） ・緑を守る活動への支援体制づくり ・用水路マップの作成			
市民提案による多様な公園づくりを進めていこう	【市民による公園づくり】 ・緑・健康・スポーツの拠点の形成（浅川スポーツ公園・向島親水公園） ・人と生き物が共生できる公園や、環境に配慮した公園づくり（堆肥置き場の設置） ・落川交流センターの立地を活かし、住民が主体となって運用する林間公園の整備 ・七生自然公園の整備の方向性の再検討	○駅前や市民がよく使う公園などの公共施設を中心とした、誰もが利用しやすい居場所の創出	○公園に健康遊具を増やす	○向島親水公園は子育て世代の利用や保育園で利用されている。

暮らし方の目標 3：誰もが安心して心地よく毎日過ごし、暮らしを支える施設に気軽に行ける暮らし

・多摩川沿いには風水害への対応が必要な地域があり、住宅地の一部には、車の抜け道になっている生活道路など、安心して歩くことのできない道もあります。

→地域住民によって災害時の対応等について連携する体制を整え、また、川崎街道の整備や農地を生かした区画整理事業を推進して、誰もが安心して毎日を過ごせる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
安心して安全に暮らせる環境をつくろう	【防災まちづくり】 ・水害に対する避難ビルなどの避難施設の指定の検討（公共施設や民間の福祉施設、マンション等） ・専門家による土砂災害危険区域の再点検と地域住民への周知 ・地域住民による防災・避難体制の強化 ・災害時の情報提供や安否確認の仕組みの検討	○丘陵部の坂道を考慮した避難場所、お年寄りの身近な民間施設などの確保 ○高い民間のマンションなどの浸水に対する一時的な避難所の確保 ○浸水地域におけるマンション上階部分を避難場所として設定 ○大雨時の子供の登下校の見守り活動（万願寺） ○崖くずれの危険性のある場所での建設を抑制するルールづくり ○防災の担い手やキーマン探し、民生委員をキーマンとした防災体制づくり ○地域のイベントと防災訓練の合同開催など参加しやすい環境整備と地域のコミュニティ形成 ○高齢者への防災メール登録のサポート ○自治会未加入者に対する防災の普及啓発活動 ○高齢者でも理解できる安否確認方法の確立		○程久保川は改修された ○水害対策として、落川交流センター建替え時に1階をピロティにして高い建物に ○水害時の避難場所を山の方につくってほしい ○北川原公園は地震災害や災害復興の拠点として活用 ○地盤が弱く、がけ崩れが起こった箇所がある
歩いていて楽しく、緑豊かで周辺の農地と調和した理想的な住宅地づくりを目指し、住み良い住宅地をつくるためのルールを共有しよう	【街並みの保全】 ・低層住宅地周辺における高層住宅建設のルールや、整った景観と良好な環境を保全するためのルール・仕組みづくり（地区計画制度の活用やまちづくり条例の検討など） ・地域住民による違法建築取り締まりの仕組みづくりや、市民参加による用途別地域計画づくり ・みんなでまちをきれいにする条例の推進 ・地域に開かれた団地再生（新井団地等）を検討			○新井団地の中に保育園がある。建替え事業中。拠点性の確保が必要
市街地内の生活道路の整備を進め、安心して歩ける道路をつくろう	【安心して歩ける道づくり】 ・都市計画道路日 3・4・3 号線等の幹線道路の早期整備、カーブミラーや信号機の設置、バリアフリー化や緑化の推進 ・緊急車両やミニバスが運行できる生活道路の整備や、住宅地内の無電柱化によるバリアフリー化 ・住宅地内や学校付近の時間帯による車の通行規制や、歩道・車道・自転車レーンの区分の検討	○地域での子どもの通学の見守り活動		
年をとっても住み続けられるような住環境をつくりあげよう	【持続性のあるまちづくり】 ・歩く・農地や生態系を守る、住み続けられるまちをテーマとした区画整理事業の推進 ・空き家活用や住替えを通した住み続けられる環境整備 ・住宅団地等における生活利便施設の立地誘導 ・公園や公共施設を活用した移動販売等の場の提供 【居場所づくり】 ・誰もが利用できる交流の場の充実 ・地域住民提案による親しみやすい公園整備と地域住民による維持管理 ・七生自然公園の整備の方向性の再検討	○サロンやお風呂が入った福祉系の複合施設の整備（三沢、百草）（避難場所としても活用） ○丘陵部の坂道を考慮した公共・公益施設の整備 ○空き家を活用する仕組みの検討 ○百草周辺の職住近接の暮らしやすいまちづくり ○公園や地区センターを販売の拠点として活用 ○団地・住宅専用用途（一低など）等における空き家活用も含めた利便施設の立地可能性の検討 ○誰もが利用できる居場所の充実（浅川沿いや百草園周辺）、引きこもりがちなお年寄りも参加しやすいような仕掛けづくり ○区画整理後の区域割に対応した自治会範囲の再編（万願寺 5・6 丁目）	○空き家を活用したカフェ ○高齢者や障害者が共生できるまち	○区画整理だけでなく、地区計画など地域住民で地区改善を行う機運の醸成

公共施設や公共サービスを充実させ、日々の買物が身近で済ませられる環境をつくろう	【交通基盤の改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・京王線北側に川崎街道と並行する生活幹線道路の整備 ・駅前と市内各地域を連絡するバス路線等の拡充 ・ミニバスやワゴンタクシーの運行ルート等の拡充、バス停にベンチや休憩場所の設置 ・規則的な道路網を備えた丘陵部住宅団地への自動運転の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○百草からヤマザキ周辺まで直通のバスルート ○ワゴンタクシーなど、地域で公共交通を補完する仕組みづくりや担い手の確保 ○日野駅・市立病院・イオンなど、利用者が多いバス停への快速運転（万願寺５・６丁目） ○浅川南側～市役所や豊田などを結ぶ使いやすいバスルートの整備 ○自動運転車による交通利便性の向上 ○バス停またはバス停までの経路上にベンチ等の休憩スペースを整備 		
---	---	--	--	--

暮らし方の目標４：さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らし

・地域には、市内外から参拝客を集める高幡不動尊があり、最寄駅の高幡不動駅は京王線とモノレールの交通結節点となっています。

→高幡不動駅の拠点機能を充実させ、さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
高幡不動尊など周辺とのつながりを大切にした駅前のまちづくりをすすめよう	【高幡不動を活かした駅前づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・特別用途地区や地区計画、景観条例等による高幡不動参道の歴史的な街並みの形成 ・参拝客をターゲットにした魅力ある商店街の形成（気軽に休める喫茶店、高齢者が気軽に立ち寄れる雰囲気のお店） ・高幡不動の行事と一体となったイベントの開催 			
若い世代にも魅力ある駅前商店街をつくり、都内全域から人が集まる高幡不動駅前づくりをすすめよう	【多世代の人が集まる駅前づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の拡幅・回遊できる歩行者ネットワーク形成（高幡不動駅から高幡不動尊、向島用水親水路、浅川など） ・駅周辺の子育て施設の充実、福祉支援センター等の老朽化した公共施設の機能の充実 ・七生公会堂周辺の公共施設の再編モデルとしての整備検討 ・農産物直売所の設置 		○高齢者へ配慮したベンチ等の設置	○高幡不動駅周辺の商業系土地利用の拡大、商業機能の強化 ○七生公会堂を建替え、福祉施設や文化施設に ○七生公会堂周辺を公共施設の再編のモデルとして整備
	【駅周辺の環境整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・駅北側の住宅地の住環境の改善（狹隘道路の拡幅整備や、ゆとりある歩行者空間の確保、小規模・老朽建物の建替え・共同化の促進等） ・レンタサイクル・サイクルシェアの導入の検討 			○地域ニーズに応じて駅北側の住宅地の改善手法（基盤整備や地区計画等）を検討する
	【地域の拠点づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流・まちづくりの拠点づくり（コミュニティセンター・図書館・集会所・郵便局・市役所窓口等） ・多摩地域の拠点としての位置づけ（産学共同用施設・コワーキングスペース・情報発信地） 			

暮らし方の目標５：地域住民の集える場所や施設があり、誰もが利用でき、活発な交流がなされる暮らし

・百草園駅は地域の交通拠点としての役割を担っていますが、駅周辺には気軽に集まれる場所や施設が不足しています。

→身近な場所で日々の買物ができる駅前商店街の充実を図るとともに、歩きやすい歩行者環境や地域住民が気軽に集える場を創出し、活発な交流が生まれる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
百草園駅周辺をレクリエーション拠点として整備していこう	【百草園駅の魅力づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩丘陵の景観を損なわない街路樹や街路灯、透水性舗装・共同溝・歩道・屋根のある待合スペースの整備 ・緑陰やおもしろい店があるシンボルロードづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世代が集まれるカフェなどの居場所づくり（百草駅周辺） ○タクシープールの整備（百草駅周辺） 		○百草園駅周辺は敷地規模が小さい ○百草園駅と川崎街道沿道を軸とした拠点形成の検討

	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が集まれるカフェなどの居場所づくり 			
	【百草園を活かそう】 <ul style="list-style-type: none"> ・百草園へのアクセスルートや散策路の整備、アクセスルートに梅を配置 ・駅付近の駐車場を起点としたサインやデザインの統一 			
色々な立場の人が交流できるような環境をつくりあげよう	【商店街の活性化】 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく清潔な道路づくり ・交流の場となる施設の誘導や、いろいろな世代の人の声を集める仕掛けづくり ・高齢者が気軽に利用できるふれあいサロン等の拠点の充実・運営支援 ・農・介護・子育てを関連付けた活性化の検討 			

暮らし方の目標 6：日野の良さを掘り起こし、住んでいる人だけでなく外の人と共に楽しめる暮らし

- ・地域には、豊かな自然をはじめ、百草園や七生丘陵散策コースなど、人々を集める地域資源がたくさんあります。
- 魅力ある地域資源を積極的に PR するとともに、誰もが楽しめる場として充実することによって、住んでいる人や街を訪れる人が共に楽しめる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
散策コースや遊歩道の雰囲気づくりをして、利用者の増加を図っていこう	【散策コースの魅力づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・七生丘陵散策コースの緑のつながりの維持保全 ・景観に調和したフェンスへの改修や、透水性舗装への改修 ・倉沢・里山の散策コースの案内板の設置、利用者が交流できる広場や休憩所・WC の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが利用できる居場所の充実（浅川沿いや百草園周辺） ○ウォーキングルートの整備の一環としての広場整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○倉沢への行き方、入り方を示すサイン・標識の設置 ○回遊路で地域資源をつなげて、人々が交流できる場所をつくる（川沿い～倉沢緑地） ○散歩コースにWC 設置 ○百草里山ミュージアム構想の実現 	○日野高校との間に橋を一本通すとよい
日野の良さを PR しよう	【PR 推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源や自然環境をめぐる散策路マップの作成と PR の推進 ・子どもたちが原体験できる環境教育の場づくり ・地域住民による有効な PR 方法を検討できる場づくり 			

暮らし方の目標 7：農地や農作業を身近に感じて環境共生型の産業を守り育てる暮らし

- ・新井地区や倉沢地区では、緑豊かな里山や、日野の原風景といえる農地のある景観が残されています。
- 貴重な農地を保全するとともに、市民農園などの整備によって住民が農業に関わり、その恵みを受けて豊かになれる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
日々の生活の中で農に親しめるよう、農地のある環境を守り、育てていこう	【農地のあるまち】 <ul style="list-style-type: none"> ・農の重点地区の指定と生産緑地指定への積極的な働きかけ ・農地の借用による市民農園の整備や、体験農業の場として休耕地を保全（農業者と協定） ・農地と宅地が共存できる土地区画整理事業の推進（新井地区） ・農地を保全するため新規の土地区画整理事業に併せて公有地等支援を検討 ・農家による援農ボランティアの育成やシステムの立ち上げ ・イベント開催による地域住民と農家との交流の促進 ・地域住民の協力による地元生産者のバックアップ（生産～流通～消費） 	○農地や自然に親しめる環境を市民も参加して保全	<ul style="list-style-type: none"> ○農家のもつ売れない農地を生産緑地に ○市民が農地・農業に触れられる場所 ○野菜を使ったカフェ ○都心の人が来て楽しむ農地 ○体験農園、コミュニティガーデン、市民農園 ○使われていない田んぼの活用 ○農家にメリットのある農地保全の仕組み 	＜新井、百草＞ <ul style="list-style-type: none"> ○落川交流センターと新井の農地の一体的な保全と連携を検討する。
農産物の産地を結ぶ散策路を整備しよう	【観光ルートづくり】 <ul style="list-style-type: none"> ○野菜を使ったカフェや都心の人が来て楽しむ体験農園 ・果樹園や農地・用水路を結ぶ観光ルートの整備、木のチップ化舗装（農地内道路） ・観光ルートマップの作成と PR 			

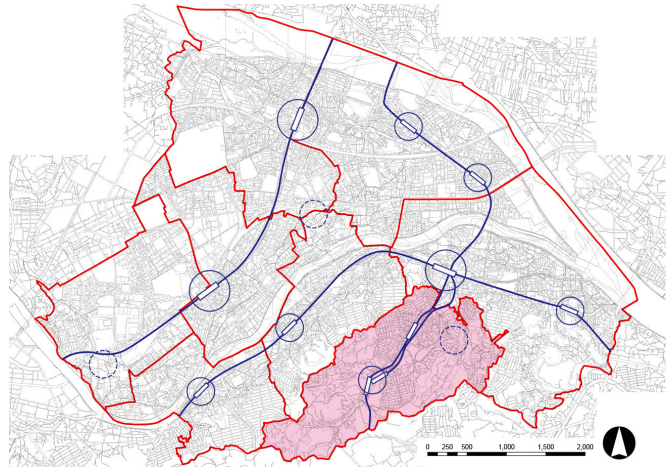
農業を維持・継続するためのシステムを用意しよう	<p>【農業支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・農産物直売所の設置・農の学校による農業経営の支援・後継者の支援システムづくり・キノコ栽培等の事業効率化・農家と市民による農地・農業の長期戦略の作成、生産緑地の農業法人化の検討、農産物の購入者に生産・維持コストの一部を負担してもらう制度づくり		<ul style="list-style-type: none">○後継ぎがいない農家の支援○子供の情操教育のため気軽に農に触れる機会○学生を巻き込んだ地域活動○暮らしと農との関わりを強める活動が必要○ゴミを出さない暮らし	
-------------------------	---	--	--	--

第三中学校地域 多摩丘陵に抱かれたまち

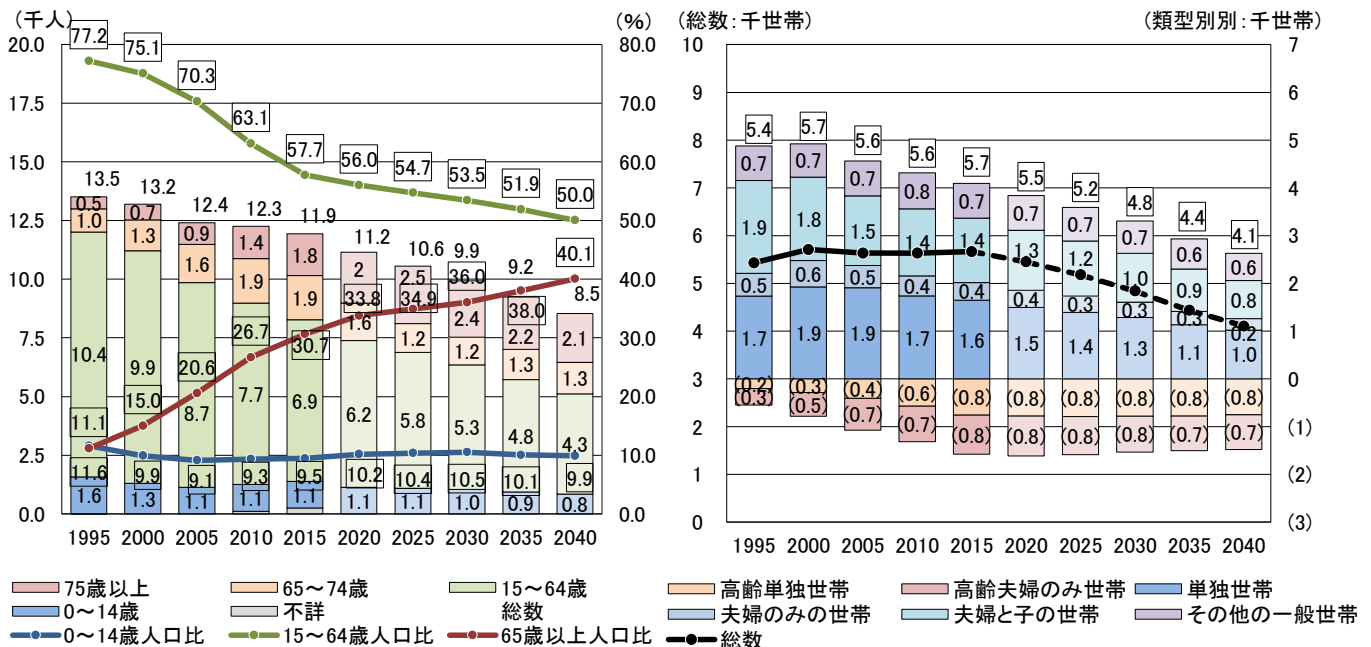
1. 地域の特徴とまちづくりの課題

【第三中学校の区域】

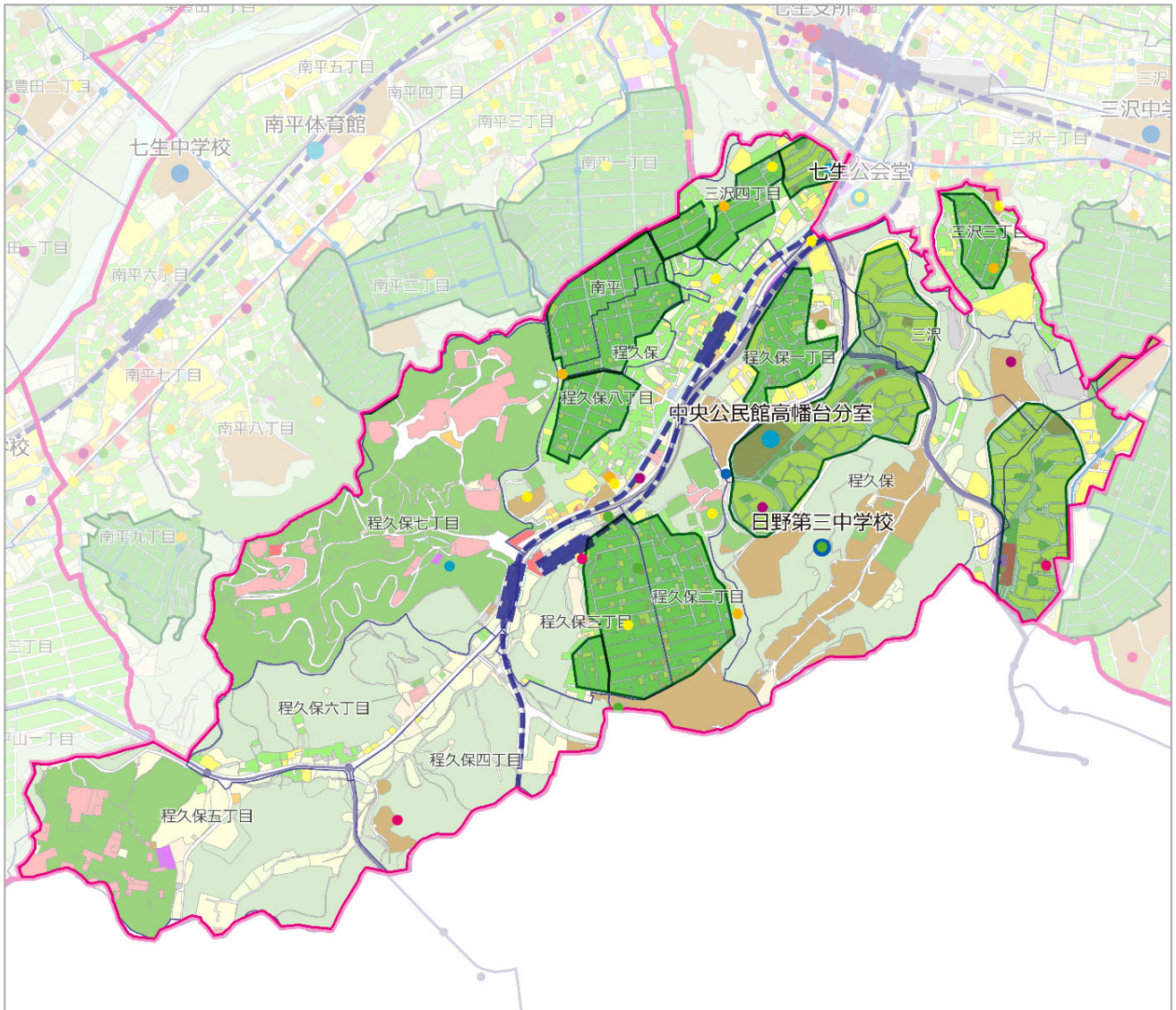
- ・地域の半分以上は多摩丘陵の公園、森林となっており、中央部に多摩動物公園があります。
- ・多摩動物公園駅は、京王線とモノレールの2線の駅で、多摩動物公園や多摩丘陵への入り口として多くの観光客が利用する駅となっています。一方、身近な店舗や生活利便施設の集積が少なく周辺の居住者の生活ニーズには対応できていません。
- ・丘陵部に眺望のよい戸建て住宅地が整備されていますが、道路の勾配が大きい場所もあります。また、既存団地に接続してミニ開発等が行われている例もみられます。
- ・大規模な共同住宅団地であるU R 高幡台団地、百草団地があり、身近に緑をかんじられ、良好な住環境が保持されていますが、年数が経過し、居住者の高齢化や建替え・大規模改修等が課題となっています。



【第三中学校地域の人口・世帯数の現況と推計】



【第三中学校地域の現況図】



凡例：交通		路線バスルート		ミニバスルート		凡例：施設利用					
鉄道	—	75本(片道)/日以上	—	20本(片道)/日以上	ミニバス停	●	行政施設	●	教育施設	●	医療施設
	—	30本(片道)/日以上	—	20本(片道)/日未満		●	文化・スポーツ施設	●	子育て施設	●	商業施設
	---	30本(片道)/日未満	●	ミニバス停		●	コミュニティ施設	●	福祉施設		
凡例：土地利用種別											
■	官公庁施設	■	供給処理施設	■	独立住宅	■	屋外利用地・仮設建物	■	田		
■	教育文化施設	■	事務所建築物	■	集合住宅	■	その他	■	畑		
■	厚生医療施設	■	専用商業施設	■	専用工場	■	道路	■	樹園地		
■	宿泊・遊興施設	■	住商併用建物	■	住居併用工場	■	公園・運動場等	■	水面・河川・水路		
				■	倉庫運輸関係施設	■	鉄道・港湾等	■	原野		
				■	農林漁業施設	■	未利用地等	■	森林		

2.暮らし方の目標と実現するための取り組みの方向性

第三中学校地域

暮らし方の目標 1：身近に緑を感じることができる暮らし

・地域は、多摩丘陵が広がる自然の豊かな地域です。丘陵地からは市街地を見渡すことができます。
→法制度の活用やルールづくりなどによって、これらの豊かな緑を守るとともに、親しめる場づくりを進めることによ
って、身近に緑を感じる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
現存する樹林地や農地を守っていこう	【緑地の保全】 ・樹林地の公有地化や、生産緑地の指定による農地の保全 ・樹林地を残すための開発時のルールづくり ・「緑は財産」という意識の共有化の機会づくり ・市街化調整区域内の緑地の保全についての検討			○民有地の緑地の保全・促進策の検討 ○東京電力総合研修センター周辺の緑の保全
日野市街地や、富士山などが見える眺望を大切にしまちづくりを進めていこう	【見晴らしの保全】 ・丘陵地からの眺めを守るための建築物の高さを規制するルールづくり ・地域住民による眺望点調査と見晴らしマップの作成 ・程久保川源流域の整備と保全			○多摩丘陵の保全

暮らし方の目標 2：住みやすく、安心して生活できる暮らし

・丘陵地にある住宅地は、道路や美しい街並みが整備されていますが、今後は高齢化の進行や空き家の増加が進むとみ
られます。
→道路や公園の維持やリニューアルを進め、高齢者でも一人で散歩できるような環境を整え、安心して生活できる暮ら
しを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
誰もが安心して街並みを楽しみながら、散歩できるような住環境を育んでいこう	【安全・安心なまちづくり】 ・専門家による土砂災害危険区域の再点検と地域住民への周知 ・丘陵部において高齢者が安全に避難するための仕組みの検討	○坂道や階段のある丘陵部において高齢者が安全に避難するための仕組みの検討		○地区計画の指定されていない住宅団地では敷地の細分化が進んでいる。 ○2宅地が3分割される。比較的若い世代には手頃な価格のため、不便であるが転入者は増える ○丘陵部団地の老朽住宅の建替えの促進 ○夜は街灯が少ないため危ない。女子大生や小中学生の防犯対策も必要
年をとっても住み続けられるような住環境をつくりあげよう	【持続性のあるまちづくり】 ・緑豊かな活力のある住宅地へ向けた団地の再整備 ・空き家活用や住替えを通した、住み続けられる環境整備 ・川崎街道沿道の生活利便施設の誘致 ・高齢者の買い物支援や配達サービス・移動販売等の充実 ・住宅団地内のシェアオフィスやテレワークステーション等の整備の促進	○多世代がバランスよく住んでいる住宅地へ ○若い人が住んでみたいと思う魅力づくり ○川崎街道の拡幅整備あわせたお店の誘致 ○ヘルパーさんによる買物支援やスーパーの配達サービスの充実。 ○ふれあいサロンに人を呼ぶ場所とネタの工夫	○団地の高齢者が歩いて買い物ができる場所の確保	○団地内のシェアオフィスやテレワークステーション等の整備の促進 ○百草団地を活用した生活拠点の創出 ○一団地認定の変更等による百草団地の再生

暮らし方の目標 3：住環境を自ら守り育てることのできる暮らし

・地域には、住民が気軽に立ち寄って集まることのできる場所や公共施設が不足しています。
→公共施設の整備や工夫によって、住民の交流の場を充実するとともに、地域住民によって暮らしの利便性を高める仕
組みづくりに取り組み、住環境を自ら守り育てることのできる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
公共施設の整備と開放によってサービスを向上させよう	【公共施設の充実】 ・高幡台団地地区地区まちづくりの推進（高齢者が集える場、カフェや喫茶店など交流の場の創出） ・百草台団地地区地区まちづくり（案）の推進	○高幡台団地の73号棟の活用（幼児からお年寄りまで集まれる交流の場、健康増進施設） ○小学校跡地の有効活用（スポーツ施設整備等） ○子供の遊べる場所の確保	○団地内に、ちょっとお茶が飲めるカフェなど高齢者が集える場所 ○ゆっくりできるようなカフェや喫茶店 ○高齢者が安く食事ができるお店 ○1人暮らしの高齢者が家以外で集まれる場所	○程久保駅の拠点化の検討 ○中央公民館の高幡台分室へのアクセスが不便で改善したい

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による廃校施設の活用方法の検討（コミュニティセンター等） ・学校の余裕教室の活用等、学校を活用した交流拠点づくり、七生福祉園内の施設の地域開放、高幡図書館の充実（カフェなど、人が集まれる施設の併設）・火葬場など公共公益施設の整備とあわせた地域づくり ・程久保まちづくり重点地区（案）の指定 ・生活利便機能の導入に向けて都市計画制度の活用 ・「自然と共生」をテーマとする場づくり 	○高幡図書館の活用（人が集まるカフェの併設、小さい子供やお母さんが集まるマンガ図書室）	○団地の住民がたまに集まって食事をするような仕組みづくり ○若い方の入居を促進するための保育所の整備 ○ベンチや、屋根があって集まって話ができる場所	
	【利便性の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両やミニバスが運行できる丘陵住宅地間及び駅を連絡する生活幹線道路の整備 ・バスルートの拡充・再編（団地や駅、大学等） ・ミニバスや乗合タクシー、ボランティアタクシーや介護タクシーの運行支援 ・地域と協働で行う移動手段の仕組みの検討 	○高低差に対する屋外のエレベーターやエスカレーターの整備 ○高幡不動駅・高幡図書館を経て高幡小跡地（日野市教育センター）へのエスカレーター整備 ○ボランティアタクシー、介護タクシーの保険料の市負担（助成）	○バスルートが分かりにくいため改善 ○団地内を循環するバス路線の整備	○坂が多く、坂の上下や住宅団地の北と南で利便性が異なる ○駅から斜面地へのエスカレーター整備 ○明星大学と程久保地域の交通ネットワークは連携している ○多摩テック跡地、多摩動物公園駅、東京薬科大学・帝京大学等をつなぐ交通ネットワークの強化 ○程久保-南平間のバスルートの拡充 ○ミニバスの充実

暮らし方の目標４：さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らし

・地域には、市内外から多くの人を集める多摩動物公園と、多摩動物公園の玄関口となる多摩動物公園駅があります。
→多摩動物公園駅周辺ではレクリエーションの拠点づくりを進め、さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を気軽に利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
多摩動物公園駅を地域の生活やレクリエーションの拠点として、使いやすい駅周辺をつくっていこう	【玄関口づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩動物公園駅を観光型レクリエーション拠点として整備（家族でくつろげるスペース、レストラン等の飲食店の充実、ユニバーサルデザインの視点による施設計画づくり） ・地域住民のニーズにあった個性的な商店街や生活利便施設の整備 ・駐輪場の充実、レンタサイクル・サイクルシェアの導入の検討 			○多摩動物公園駅がにぎわうのは主にウィークエンドのみ
モノレールの新しさを活かし、子どもたちに夢を与えられる場所をつくろう	【夢のある空間づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・動物園・民間のレクリエーション施設（HUGHUG、京王レールランド等）が一体となった多世代観光交流ゾーンの形成 ・駅周辺の緑豊かな環境を活かした沿道の景観誘導、来訪者を意識したデザイン誘導 			

暮らし方の目標５：程久保駅周辺で、誰もが居心地の良い空間を楽しめる暮らし

・程久保駅は高幡不動尊と多摩動物公園の中間に位置し、地域の交通拠点としての役割を担っています。
→程久保駅周辺では地域住民のニーズに応じた施設の充実を図り、地域住民の交流の場として、誰もが居心地の良い空間で楽しめる暮らしを目指します。

	【絵画のある駅】 <ul style="list-style-type: none"> ・京王多摩動物園線の擁壁に絵を描く（学生等の表現の場） ・絵画を楽しめる空間としての木陰づくり 	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
駅前の空間を活かし、高幡不動駅と多摩動物公園駅をつなぐ拠点となる駅周辺づくりをすすめよう	【イベントモールづくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・程久保川沿いをイベントモールとして整備（高幡不動駅～多摩動物公園駅） ・イベントの開催 			
	【駅前空間の活用】			○高幡不動駅の隣であることを活かし程久保駅

	<div><div><div>・みんなが楽しめる駅周辺の施設整備</div><div>・レンタサイクル・サイクルシェアの導入の検討、緑化された駐輪場の整備</div><div>・駅周辺の生活サービス機能の誘導</div><div>・高幡台団地と駅をつなぐアクセス性の強化</div></div></div>			<div>周辺の生活環境の改善</div> <div>○高幡台団地と駅をつなぐアクセス性の充実</div>
--	---	--	--	---

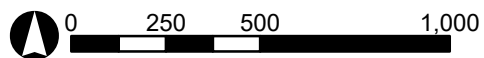
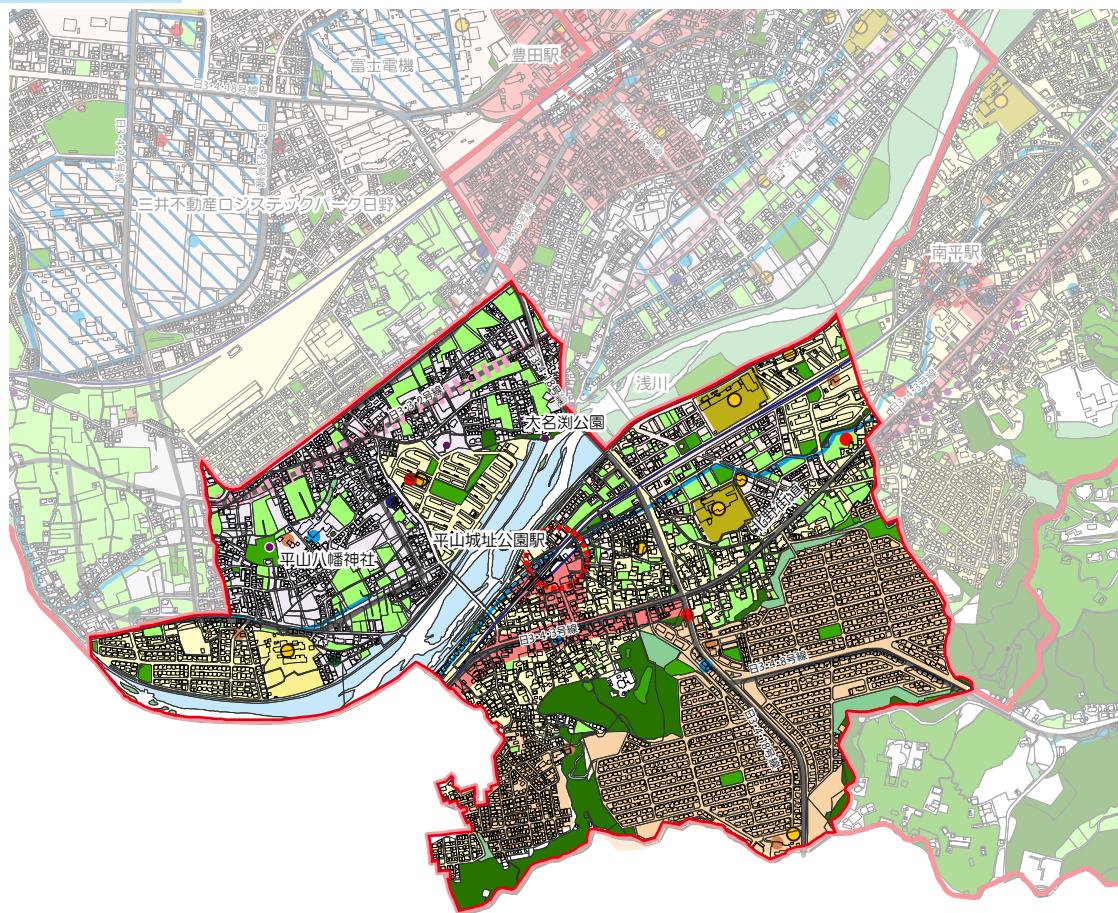
暮らし方の目標6：豊かな自然や観光資源を地域の誇りとして大切にしながら、楽しむ暮らし

・地域に広がる多摩丘陵には、豊かな自然を楽しむためのハイキングコースがあり、多摩動物公園など観光資源となる要素がたくさんあります。

→多摩丘陵の豊かな自然や観光資源をつなぎ、それらの魅力を積極的に PR し、豊かな自然や観光資源を地域の誇りとして大切にしながら、楽しむ暮らしを目指します。

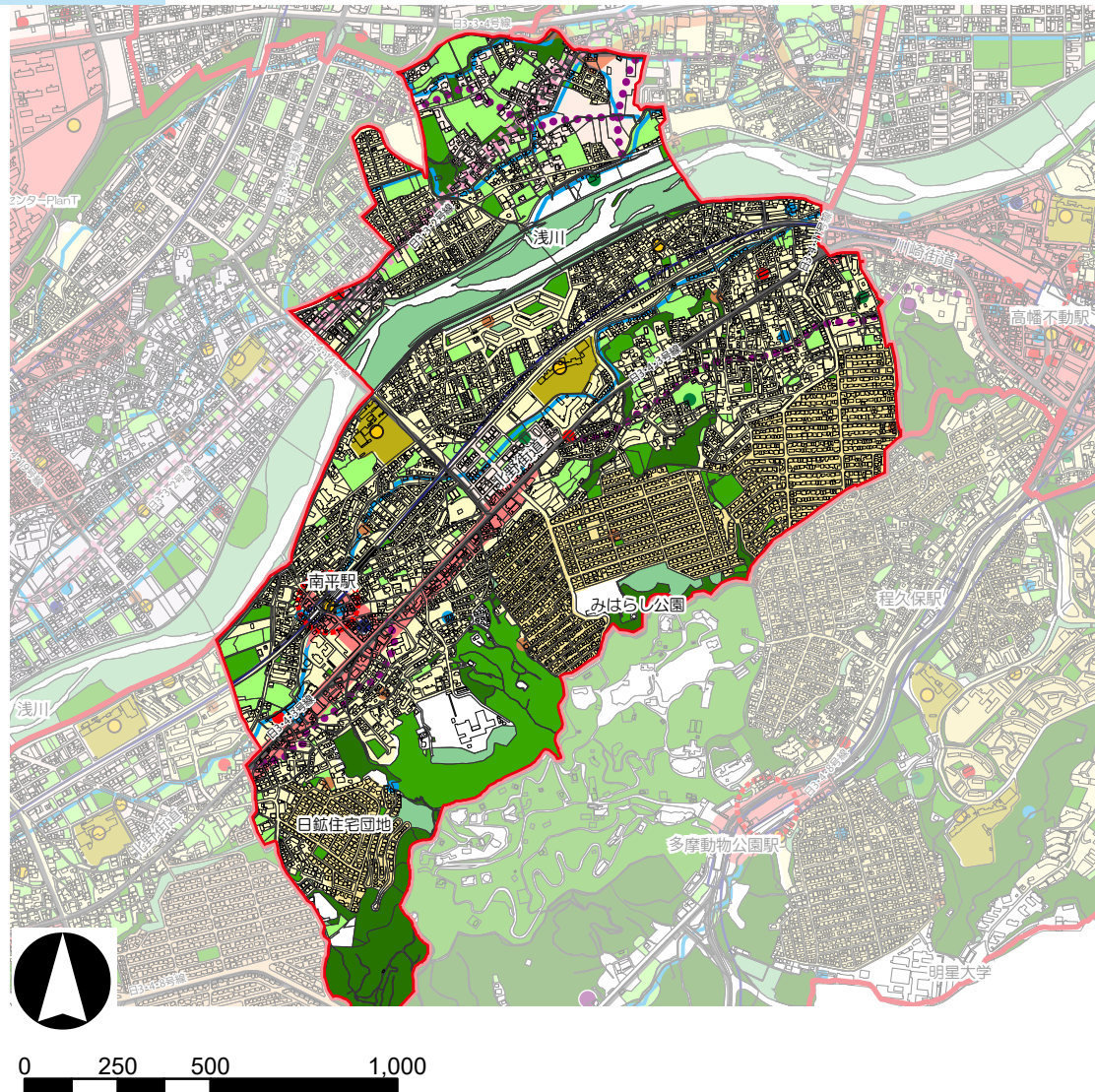
■ 目標を実現するための方針	■ プロジェクト	地域ケア会議	地域別意見交換会	コア会議
誰もが安心して散策を楽しめるように、多摩丘陵の自然を活かしたハイキングコースの充実を図ろう	【水と緑をつなごう】 <ul style="list-style-type: none">・多摩丘陵の自然景観を守るためのルールづくり（景観条例の検討、看板類等の規制など）・地権者の土地の提供によるハイキングコースの連続性の確保、ハイキングコースの入口の再整備・七生丘陵散策コースの緑のつながりの維持、利用者にとってわかりやすいサインの設置			
観光資源を積極的に取り入れたまちづくりを進めていこう	【宝モノを活かそう】 <ul style="list-style-type: none">・多摩動物公園の充実・観光資源を結ぶ遊歩道の整備・丘陵地からの景観や散策コースの PR、多摩動物園などの観光施設への共通パスポートづくり・多摩テック跡地のような大規模な敷地については、緑を保全しながら市民にとってより良い公益的土地利用を検討			<ul style="list-style-type: none">○多摩動物園をもっと活用したい○鹿島台団地のような景観に特徴のある団地があることはよい○大学に関連した施設など、多摩テック跡地の活用方法を検討する。

平山中学校地域 まちづくり方針図



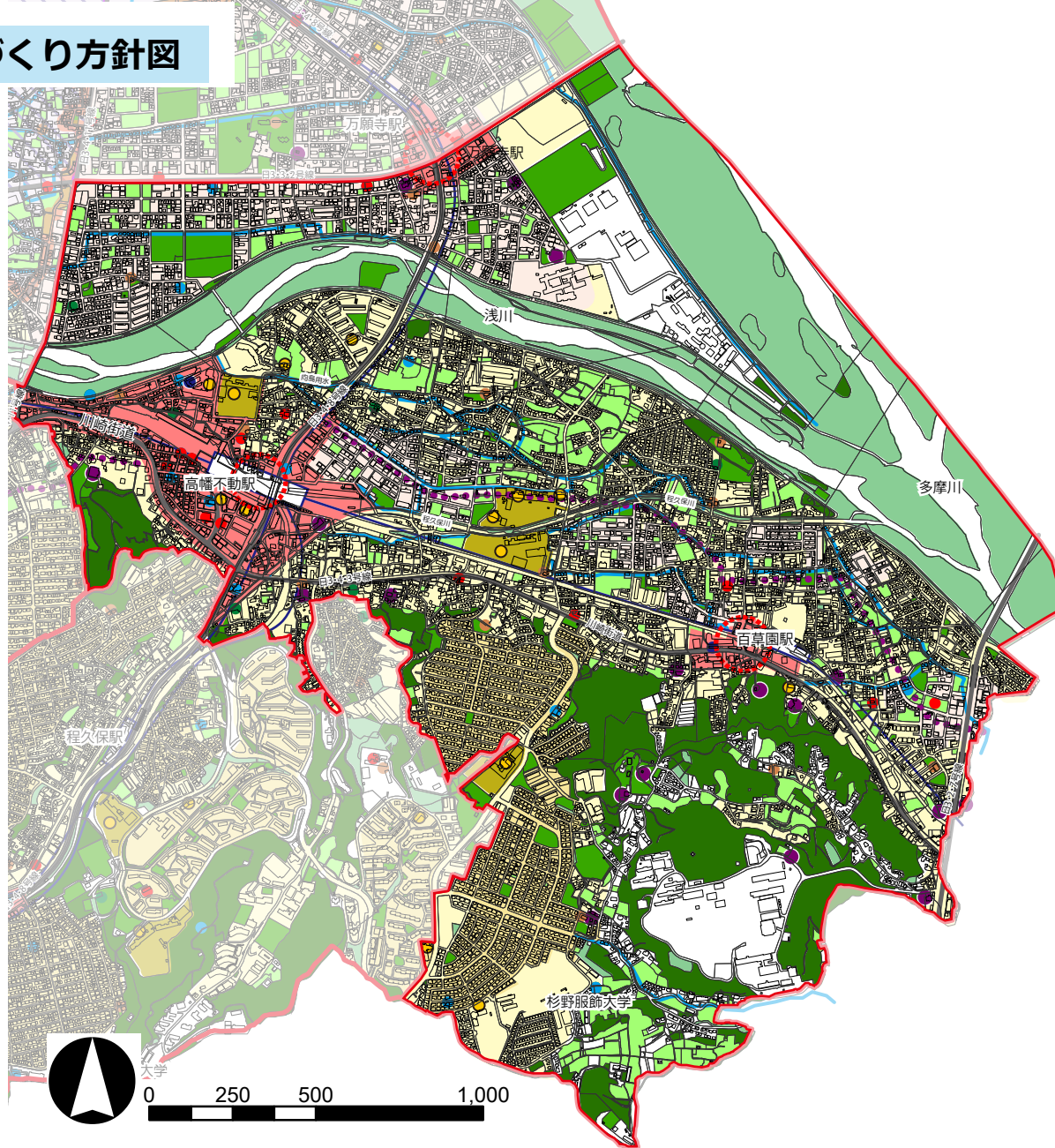
記憶と文化を伝える まちをつくる	暮らしの舞台を支える まちをつくる	人々が活発に活動する まちをつくる	
<ul style="list-style-type: none"> 公園の整備と機能の充実 農地の保全と活用 崖線・多摩丘陵等の緑の保全 用水路の維持・保全 史跡の保全と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 住環境の整備改善 (生活圏整備・ルールづくりなど) 住宅地の価値向上 (区画整理施行中・計画) 住環境の維持・向上 (区画整理施行済) 住み続けられる環境整備 (丘陵部の住宅団地) 	<ul style="list-style-type: none"> 都市・生活拠点の機能充実 沿道の施設誘導 幹線道路の整備・改善 (緑化・歩きやすい歩行環境整備) 	<ul style="list-style-type: none"> スーパー・コンビニ 小学校・中学校 幼稚園・保育園 病院・診療所 福祉サービス施設 地域包括支援センター 地区センター・交流センター

七生中学校地域 まちづくり方針図



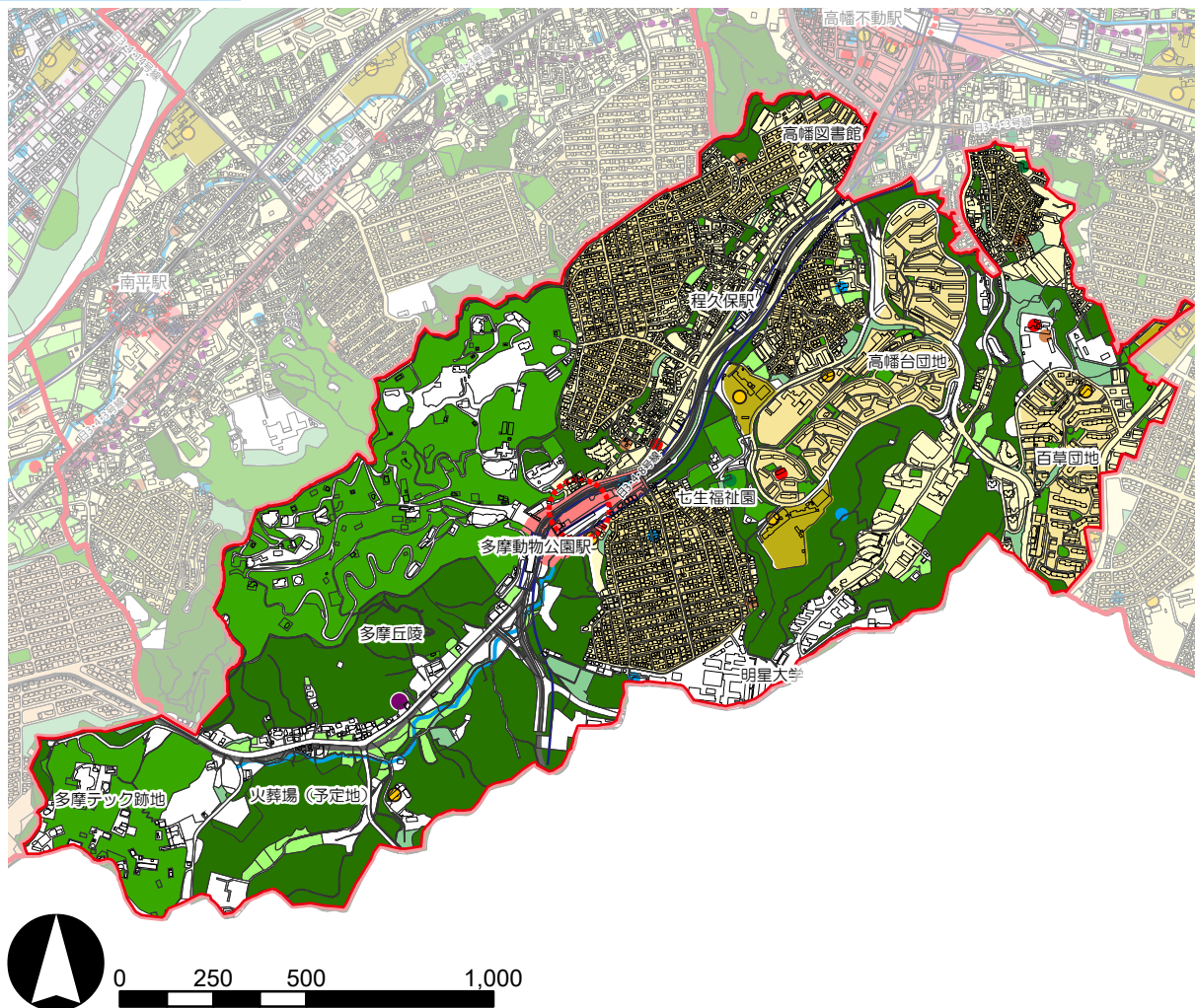
記憶と文化を伝える まちをつくる	暮らしの舞台を支える まちをつくる	人々が活発に活動する まちをつくる	
<ul style="list-style-type: none"> 公園の整備と機能の充実 農地の保全と活用 崖線・多摩丘陵等の緑の保全 用水路の維持・保全 史跡の保全と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 住環境の整備改善 (生活環境整備・ルールづくりなど) 住宅地の価値向上 (区画整理施行中・計画) 住環境の維持・向上 (区画整理施行済) 住み続けられる環境整備 (丘陵部の住宅団地) 	<ul style="list-style-type: none"> 都市・生活拠点の機能充実 沿道の施設誘導 幹線道路の整備・改善 (緑化・歩きやすい歩行環境整備) 	<ul style="list-style-type: none"> スーパー・コンビニ 小学校・中学校 幼稚園・保育園 病院・診療所 福祉サービス施設 地域包括支援センター 地区センター・交流センター

三沢中学校地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる	暮らしの舞台を支える まちをつくる	人々が活発に活動する まちをつくる
<ul style="list-style-type: none"> 公園の整備と機能の充実 農地の保全と活用 崖線・多摩丘陵等の緑の保全 用水路の維持・保全 史跡の保全と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 住環境の整備改善 (生活環境整備・ルールづくりなど) 住宅地の価値向上 (区画整理施行中・計画) 住環境の維持・向上 (区画整理施行済) 住み続けられる環境整備 (丘陵部の住宅団地) 	<ul style="list-style-type: none"> 都市・生活拠点の機能充実 幹線道路の整備・改善 (緑化・歩きやすい歩行環境整備)
		<ul style="list-style-type: none"> スーパー・コンビニ 小学校・中学校 幼稚園・保育園 病院・診療所 福祉サービス施設 地域包括支援センター 地区センター・交流センター

第三中学校地域 まちづくり方針図



記憶と文化を伝える まちをつくる	暮らしの舞台を支える まちをつくる	人々が活発に活動する まちをつくる	
公園の整備と機能の充実	住環境の整備改善 (生活圏整備・ルールづくりなど)	スーパー・コンビニ	●
農地の保全と活用	住宅地の価値向上 (区画整理施行中・計画)	小学校・中学校	●
崖線・多摩丘陵等の緑の保全	住環境の維持・向上 (区画整理施行済)	幼稚園・保育園	●
用水路の維持・保全	住み続けられる環境整備 (丘陵部の住宅団地)	病院・診療所	●
史跡の保全と活用		福祉サービス施設	●
		地域包括支援センター	●
		地区センター・交流センター	●
		都市・生活拠点の機能充実	●
		幹線道路の整備・改善 (緑化・歩きやすい歩行環境整備)	●